

生理化学研究ユニット第8回シンポジウム

Chemistryで紐解くPhysiology

日時：平成30年12月21日(金) 午後1時20分から

会場：京都大学農学部大講義室 (W100)

招待講演 16時15分～

「天然物立体異性体を用いる植物ホルモンの標的選択性制御」

上田 実 (東北大学大学院理学研究科)

招待講演 16時55分～

「脂肪滴分解を促進するダイナピノンの研究」

供田 洋 (北里大学薬学部)

ユニット成果報告 13時20分～

「細胞内局所的レドックス可視化による生理化学研究」

阪井康能 (京都大学大学院農学研究科)

「ミトコンドリア膜電位依存性アニオンチャネルVDAC1の新規阻害剤の探索」

三芳秀人 (京都大学大学院農学研究科)

「軟骨細胞内カルシウムの制御機構と骨形成における生理機能解析」

市村敦彦 (京都大学大学院薬学研究科)

「抗酸化機構の賦活による生体防御作用をもつファイトケミカルの探索」

久米利明 (富山大学大学院医学薬学研究部)

「超高齢社会に挑む食の生理化学 -新しい記憶低下改善および動脈弛緩ペプチドの発見-」

大日向耕作 (京都大学大学院農学研究科)

「ファージディスプレイ法を基盤としたケミカルバイオロジー」

野中元裕 (京都大学大学院薬学研究科)

本シンポジウムは、平成30年度研究科横断型研究プログラム大学院講義「生理化学概論」（農学研究科・薬学研究科；2単位）の一環として行いますので、履修希望者は講義とあわせて出席すること。

連絡先：京都大学大学院農学研究科応用生命科学専攻内 阪井康能

E-mail：jimu-physichem@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp WEB：http://www.physichem.kais.kyoto-u.ac.jp/